

平成28年度 自己評価の総括から経営を考える

認定こども園
玉里善き牧者幼稚園

1 自己評価を終えての課題

- (1) 園の方針・理念に基づいた保育者としての行動・園児の保育指導
- (2) 季節を考えた環境構成のあり方や保育者が子どもの模範となる言動のあり方
- (3) 幼稚園教育要領・教育課程・年間指導計画の理解を深め、月案・週案をどうするか。
- (4) 配慮を要する子との対応・援助のあり方
- (5) 園児一人一人の目線・興味・動線等に配慮した環境構成
- (6) 学年の話し合いを持ち、共通理解を深めること
- (7) 異年齢交流保育の研究
- (8) 食育についての研究
- (9) 安全点検のあり方
- (10) 研修に参加するとき、自己課題を持つことの必要性
- (11) 専門の知識だけでなく、一般的な知識も身につけないと「良い教師」とはいえない
- (12) 家庭との連携のあり方

2 課題解決に向けての具体策

- (1) 教育課題を繰り返し見ることにより指導計画を生かし、発達段階・季節に合ったクラス経営をしたい。
- (2) 一人一人の子どもの姿を把握し、発達段階や季節に適応した環境にし、成長に合わせた保育や援助を心がけたい。
- (3) 縦割り保育の保育内容の研究を継続する。
- (4) 行事を通して、協調性・団結力・満足感・達成感を培いたい。
- (5) 安全点検に心がけ、安心して遊べる保育室と園庭にしたい。
- (6) 音楽を通じた保育の在り方を研究したい。
- (7) 不得意分野を克服する努力をしたい。
- (8) 連絡帳の書き方（保護者に誤解を招く文言があったのではないか）について、慎重にする努力をしたい。
- (9) 自分らしさを表現できる場所を作れるように心がけたい。
- (10) 補助教諭の在り方を確かなものにするための研究をすべき。
- (11) 園児の日々の様子や成長、保育内容等を積極的に伝えるよう心がける。